

## NO17

### 戦闘機の残骸

所在地は白山町郷土資料館（近鉄榊原温泉口下車、徒歩10分）

※現在は、白山総合文化センター内にあります。



白山町は山あいの町で、直接の戦禍はまぬがれました。

しかし町内にある郷土

資料館には、太平洋戦争時の戦争関係資料の展示があり、そのなかに1人の若者の悲しい歴史が残されています。

1945年6月26日、日本の戦闘機「飛燕」1機が、白山町二本木上空で、アメリカの爆撃機B29に体あたりをしました。

この戦闘により両機は白山町内に墜落し、「飛燕」のパイロットだった中川裕少尉（当時24歳）は、パラシュートで落下途中にも射撃を受け亡くなりました。資料館には墜落した両機の破片や、遺品などが展示されています。

ほかにも日本赤十字からの看護婦の招集状や衣類の配給券などがあり、当時の人々の厳しいくらしもうかがうことができます。

町に残るこれらの資料が、平和を守りつづけていこうとわたしたちに訴えています。

20060205 掲載